

～中国の大学生について～

下関市総合政策部国際課
(青島市派遣職員)
中村 和貴

メッセ通信をお読みの皆様、初めまして。私は9月より中国山東省青島市に赴任いたしました下関市総合政策部国際課の中村 和貴(なかむら かずたか)と申します。今後約2年間にわたり、本通信にて中国の情報をお届けいたします。以後よろしくお願い致します。

さて、初回の寄稿テーマは、中国の大学生についてです。中国は地域間での物価事情が大きく異なるため、現在私が通っている青島大学を例に挙げながら、お話しさせていただきます。(参考) 1元:約17円

○大学進学率について

中国の大学進学率は42.7%(2016年時点、中国教育部発表値)となっています。日本の大学進学率は52.0%(2016年時点、文部科学省発表値)のため、日本に比べて進学率は劣りますが、中国の大学進学率は数年前から著しい伸びを見せており、2019年までに大学進学率は5割を上回ると予測されています。

○学費について

日本と同じで国立よりも、私立の学費の方が高く、また偏差値の高い大学ほど学費が安くなる傾向にあります。青島大学は中堅クラスの大学ですが、学費は年間約17万円です。

○学生寮について

中国では大学生の90%以上が学生寮で生活しています。青島大学は学生数が約32,000人のため、単純計算でも29,000人近くが寮生活をしています。大学の敷地は大変広く、学内には市営住宅のように学生寮が至る所に立ち並んでいます。学生寮は一般的に4～8人部屋で構成されており、4人部屋の場合、一人に一台ずつ机が与えられているのですが、8人部屋の場合、机が人数分与えられていないことが大半です。そのため、多くの大学生は図書館の自習室や空き教室で勉強しています。青島大学でも空き教



▲ 4人部屋の学生寮

室で勉強している学生をよく見かけます。ちなみに、青島大学の寮費は年間約8,500円と大変安いです。

○アルバイトについて

中国でも多くの学生が、生活費やお小遣いの足しにアルバイトに励んでいます。青島市内での学生のアルバイトの平均時給は、8～10元と低く感じますが、大学の食堂や付近の屋台は1食10～15元程度で食べられるため、時給10元でも十分生活の足しになります。さらに中国に来て大変驚いたのですが、学内の携帯ショップではSIM契約が学生の場合1月13元となっており、内容も日本と比べてとても充実しています。

(インターネット使用料：大学内154GB・山東省内10GB、国内450MBまで無料、通話料：1,160分無料)

○就職率及び初任給について

2016年の大卒の就職率は約90%、初任給の平均は約68,000円となっています。(大手就職支援サイト・智聯招聘調査結果)しかし、6月に卒業をむかえ、すぐに就職する者は70%で、年末までに90%程度が就職する現状にあり、就職難の状況がうかがえます。

以上、今回は中国の大学生について紹介しましたが、日本の大学生と様々な面で違いがあることが感じられたのではないのでしょうか。